

ボンゾール錠 100mg

【この薬は？】

販売名：ボンゾール錠 100mg (BONZOL tablets 100mg)

一般名：ダナゾール (Danazol)

含有量：1錠中 ダナゾール 100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「[医薬品医療機器情報提供ホームページ](http://www.info.pmda.go.jp/)」
<http://www.info.pmda.go.jp/> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、子宮内膜症・乳腺症治療剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、下垂体、卵巣または子宮内膜組織に直接作用し、ホルモン分泌による子宮内膜細胞や乳腺細胞の増殖を抑え、子宮内膜症に伴う月経痛・腰痛・下腹部痛などの症状や乳腺症に伴う痛み・しこり・はれなどの症状をやわらげます。
- ・次の病気の人に処方されます。

子宮内膜症、乳腺症

- ・この薬は体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○血栓症(足の痛み・むくみ、手足の麻痺、手足のしびれ、頭痛、意識の低下など)があらわれることがあります。異常を感じたらただちに使用を中止し、受診してください。患者さんおよびご家族の方は、【この薬を使う前に、確認すべきことは？】、【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】に書かれていることに特に注意してください。

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去に血栓症と診断された人
- ・血液凝固制御因子が欠損、または減少している人
- ・肝臓に重篤な障害のある人
- ・心臓または腎臓に重篤な障害のある人
- ・ポルフィリン症の人
- ・アンドロゲン依存性腫瘍のある人
- ・診断のつかない異常性器出血のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○次の人は、慎重に使う必要があります。使い始める前に医師または薬剤師に告げてください。

- ・肝臓、心臓、腎臓に障害がある人
- ・過去に心臓、腎臓に障害があった人
- ・てんかんの人
- ・片頭痛のある人
- ・糖尿病の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は次のとおりです。

〔子宮内膜症治療の目的で使用する場合〕

通常、成人は1回1～2錠（1日2回）を月経周期第2～5日より約4ヵ月間連続で飲みます。

〔乳腺症治療の目的で使用する場合〕

通常、成人は1回1錠（1日2回）を月経周期第2～5日より約4～6週間連続で飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲みます。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。気がついた時に、1回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は1回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・血栓症があらわれることがあります。異常を感じたら、ただちに使用を中止し、受診してください。
- ・血栓症があらわれる可能性が高い人は、この薬を使用する前に血液検査を実施する場合があります。
- ・喫煙の量によっては血栓症があらわれやすくなる可能性がありますので、この薬を使用中は禁煙してください。
- ・この薬の使用中は、経口避妊薬以外の方法で避妊してください。
- ・この薬の使用中は、肝機能検査を定期的に行う場合があります。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	足の痛み・むくみ、手足の麻痺、手足のしびれ、頭痛、意識の低下、めまい、視力の低下、嘔吐、吐き気、咳、息苦しい、胸の痛み
心筋梗塞 しんきんこうそく	急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい、冷や汗
劇症肝炎 げきしょうかんえん	頭痛、発熱、嘔吐、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、羽ばたくような手のふるえ、尿が黄色い
肝腫瘍、肝臓紫斑病 (肝ペリオース) かんしゅよう、かんぞうしはんびょう(かんペリオース)	腹がはる、お腹を強く押さえつける感じ
間質性肺炎 かんしつせいはいえん	頭痛、発熱、息苦しい、から咳

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	発熱、冷や汗
頭部	意識の低下、頭痛
眼	白目が黄色くなる、視力の低下
口や喉	嘔吐、吐き気、咳、から咳
胸部	胸の痛み、急激に胸を強く押さえつけられた感じ、狭心痛、息苦しい、吐き気

部位	自覚症状
腹部	腹がはる、吐き気、食欲不振、お腹を強く押さえつける感じ
手・足	手足の麻痺、手足のしびれ、むくみ、羽ばたくような手のふるえ
皮膚	皮膚が黄色くなる
尿	尿が黄色い

【この薬の形は？】

形状	円形のフィルムコーティング錠 
直径	7.1mm
厚さ	3.9mm
重さ	125mg
色	白色
識別コード	 245

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	ダナゾール
添加物	トウモロコシデンプン、カルメロース、クロスカルメロースナトリウム、ヒドロキシプロピルセルロース、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、酸化チタン、マクロゴール6000

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：田辺三菱製薬株式会社

(<http://www.mt-pharma.co.jp>)

くすり相談センター

電話：0120-753-280

受付時間：9時～17時30分

（土、日、祝日、会社休業日を除く）